

# 青葉の森公園芸術文化ホール イベントレポート

EVENT REPORT  
当ホール主催の公演・講座の雰囲気  
をみなさまに発信する、  
「サポーターライターズ」の方による  
レポートをお届けします。

出演  
トランペット  
三須 健至  
トランペット  
壽山 忠身  
ホルン  
石川 善男

# ZEXT ゼクスト BRASS ENSEMBLE CONCERT

トロンボーン  
嶋田 慎  
ユーフォニアム  
染野 真澄  
テューバ  
岩井 英二  
ドラムス  
高崎 洋平

平成 30 年  
6 月 23 日  
[土]  
開演 13:00

## 舞

台上には 6 つの椅子とドラムセット。そこへ、拍手とともに

金や銀にまばゆく光る楽器を抱えた演奏者が登場した。

金管楽器—ブラス・アンサンブルの幕開けは、ビゼー作曲の「カルメン幻想曲」。オペラ・カルメンの情景が広がっていく…。

ゼクスト・ブラスアンサンブルは 2016 年に 11 名の金管楽器奏者により結成されたグループであり、ここ青葉の森公園芸術文化ホールでは 3 度目の公演となる。今回はトランペット 2 名、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ、ドラムスの 7 名が参加、外の雨もすっかり忘れさせてくれる素敵な音色に酔いしれた。



写真/サポーター(カメラマン)田邊 定行

金管楽器の原理は、唇を振動させマウスピースによって楽器に息を吹き込むことで音が奏でられると説明があり、ここで出てきたのはなんと漏斗(じょうご)付きビニールホース 2 本。ところが、プロがマウスピースで息を吹き込むと…見事にトランペットやホルンのような音が！「おおっ！」もちろん会場からはどよめきと大きな拍手が沸き上がった。三須氏いわく、このコーナーは「どこでやっても盛り上がる」そうだ。



曲の合間のトークタイムでは、色々なトランペットについての説明やミュートによる音の違い、千葉にゆかりのあるメンバーの楽しいお話などもあり、1 時間半のコンサートはあっという間であった。曲によって編成も変わるの

面白い。「ポップス・フォー・フォア」は 4 名、「ジャイヴ・フォー・ファイブ」は 5 名と、楽器の特色を生かす選曲も新鮮だ。

また、「サウンド・オブ・ミュージック」「ルパン三世のテーマ」「ウエスト・サイド・ストーリー」といった馴染みのある曲も金管楽器だけでは思えない奥行きのある演奏に引き込まれ、最後は陽気なラテン音楽「ティコティコ」(アンコール曲)で幕を閉じた。

金管楽器というと、華やかで、迫力ある演奏のイメージが強いが、それだけではないのだ。優しい音、ひょうきんな音、悲しげな音、わくわくする音…。こんなにも一つの楽器で表情が変わるものかと、初めてブラスのアンサンブルを聴いて驚いた。オーケストラともブラスバンドとも違う、アンサンブルの良さがそこにはある。個々の楽器にスポットライトが当たることで、楽器の持つ多彩さを目で私たちが感じることが出来るのは、アンサンブルだからこそ…まさしく、息の合った演奏をぜひ体感しに、次の公演ではより多くの人に足を運んでもらえたら…と願いつつ、会場を後にした。

## 想

像もしていませんでした。こんなコンサートがあるなんて！

6 月 23 日(土) 13 時。青葉の森公園芸術文化ホール。金管楽器奏者 6 人とドラムによる「ゼクスト・ブラスアンサンブルコンサート」楽しくって革新的どこかで聞いた曲ばかりで、梅雨の小雨もどこかにつつ飛んでいきそうな、楽しいノリのいいコンサートでした。

まず演奏曲がカルメン幻想曲にサウンド・オブ・ミュージック、ルパン三世のテーマにウエスト・サイド・ストーリー…。

一曲一曲を丁寧に説明もしてくれました。例えば、カルメン幻想曲は「心おどるビートを感してもらいたい」とか。「ウエスト・サイド・ストーリー」は、映画のどの場面が使われている、こんな曲だ」とか。「この曲は何分の何ビートだ」とか。

トランペットやホルンが音を出す仕組みも科学の授業のように、わかりやすく説明してくれました。トランペット奏者の壽山さんが「じょうご」と 2 本の「ホース」を両手に持って立っているんですね。そして合体させたんです。これから何が始まるんだろう？って見ていると、ブー？？ブー？？とい

う、トランペットを吹いた時と同じ様な音ができました！これには会場のみんなびっくりです。それから、割ればかりの拍手大喝采。トランペットから音が出る原理は、こんなに簡単な仕組みだと見せて教えてくれました。ホームセンターで手軽に購入できるので、みなさんどうぞお試しを。

またトランペットの先につけると音が変わる「ミュート」をいくつか吹いて、これは「ポワーン」とまぬけな面白い音がします。これは「メロウな音」がしますとか説明をしてくれました。

ゼクスト・ブラスアンサンブルのみなさん、経歴もすごい方ばかりで、プロとして各方面で活躍され、指導もされています。この日もコンサートが終わってからメンバーによる楽器クリニックで少人数に直接指導されます。音楽って聴いた人に様々な感情を呼び起こすんですね。その曲にまつわる記憶や気持ち。喜びだったり、哀しさだったり。ロマンチックな気持ちだったり。聴いた人の心を揺さぶり語りかける、ゼクスト・ブラスアンサンブルのコンサートは、優しさと笑いと発見に満ち溢れた素敵な時間でした。サポーターライターズ石塚 久美子